2018/5/8

刀根山病院看護部

教育目的：組織・看護部の方針に基づいた看護を提供できる人材を育成する
教育目標：１．基本的人権を尊重した看護実践ができる
２．組織・チームの中での役割を認識し、チーム医療を推進できる
３．専門職として、主体的に自己研鑽できる

平成30年度現任教育計画

場所 「1」:第1会議室 「2」:第2会議室 「3」:第3会議室「研」:看護研修室

時間 原則60分の運営 （13:45-14:45）
＊ただし研修内容に応じて研修時間は変更となる

研修名	レベルⅠ研修	レベルⅡ研修	レベルⅢ研修	レベルⅣ①研修	レベルⅣ②研修	レベルⅤ		プリセプター
レベル	レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ①②		レベルⅤ		プリセプター
ステージ	新人		一人前	中堅		達人 エントリー制		
おおよその経験年数	（1年目） ひよこ	（2年目） 幼鳥	（3年目） 若鶏	（4年目） 成鳥	（5年目）	（6年目～9年目）	（10年目以上 指導者）	（3年目）
到達レベル ACTy	看護実践に必要な基本的能力を習得する	①根拠に基づいた看護を実践する ②後輩と共に学習する	①個別性を重視した看護を実践する ②看護実践者として、後輩に支援的役割を果たせる	①後輩の学習を支援する ②ﾁｰﾑﾘｰﾀﾞｰとしての役割行動がとれる		専門性の発揮、管理・教育的役割ﾓﾃﾞﾙとなり、研究的に取り組む		看護実践者として、後輩に支援的役割を果たせる
到達レベル 刀根山	看護実践における看護技術が習得できる。臨床において倫理を意識した行動がとれる	患者の個別性を活かした看護実践ができる	看護実践者としてのﾘｰﾀﾞｰｼｯﾌﾟが発揮できる	問題を明確にし、解決にむけた行動がとれる	固定ﾁｰﾑﾅｰｼﾝｸﾞを理解し、ﾘｰﾀﾞｰｼｯﾌﾟが発揮できる	固定ﾁｰﾑﾅｰｼﾝｸﾞにおける看護活動のﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄができる 管理・教育的役割を担い、研究への取り組みができる	役割ﾓﾃﾞﾙとなり専門性の発揮が組織的にできる	看護実践の役割ﾓﾃﾞﾙ 後輩への支援（新人の支援者）
役割	チームメンバー	チームメンバー	チームメンバー プリセプター	日々のチームリーダー	チームリーダー	実地指導者 現任委員	実習指導者 師長・副師長補佐	プリセプター
課題	手順に従った技術習得	ケースカンファレンス	受け持ち看護実践 後輩支援	問題解決技法	災害看護 チームリーダーの役割発揮	チームのマネジメント		後輩支援

月	日	場所	内容	日	場所	内容	日	場所	内容	日	場所	内容	日	場所	内容	日	場所	内容	日	場所	内容
4月	2-4 16(月) 23(月)	1 1研 2研	病院ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ 接遇　感染防止 輸液・ｼﾘﾝｼﾞﾎﾟﾝﾌﾟ 採血　静脈注射 酸素療法・吸引 急変対応・夜勤の心得																		3月末	1	プリセプター研修 ：かかわりの基本
5月							29(火)	1	ﾁｰﾑﾅｰｼﾝｸﾞにおける受け持ち看護師の役割と責任、ﾒﾝﾊﾞｰｼｯﾌﾟ 後輩支援	15(火)	1	問題解決技法	24(木)	1	災害発生時の看護						
6月	5(火) 後半	2研	ﾎﾟｼﾞｼｮﾆﾝｸﾞ 褥瘡予防 ﾌｫﾛｰｱｯﾌﾟ （医療安全）	19(火)	2	ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅠ ケースカンファレンス														28(木)	1	3ヶ月ﾌｫﾛｰｱｯﾌﾟ ：わかるとできる
7月			人工呼吸器 口腔ケア			課題：看護計画発表 ケースカンファレンス（2ヶ月ごと）			課題：受け持ち看護実践 看護過程の展開			課題：問題解決技法の実践			課題：災害管理・危機管理ﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄ			課題：ﾁｰﾑﾘｰﾀﾞｰ実践			選択研修：看護研究 研究指導 実習指導			
8月																					
9月	10(月) 末日	2	ﾌｫﾛｰｱｯﾌﾟ（倫理）																27(木)	1	6ヶ月ﾌｫﾛｰｱｯﾌﾟ ：ﾃｨｰﾁﾝｸﾞとｺｰﾁﾝｸﾞ
10月										16(火)	1	問題解決技法：中間報告									
11月				6(火)	1	ケースカンファレンスの実施状況報告															
12月	4(火)	2	ﾌｫﾛｰｱｯﾌﾟ（多重課題）				17(月)	13	受け持ち看護実践事例報告									院外研修：			
1月				21(月)	1	ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅡ				29(火)	2研	問題解決技法：成果報告	31(木)	1	専門職としてのこれから						
2月	18(月) 末日	1	ﾌｫﾛｰｱｯﾌﾟ（看護実践で大切にしていること）				4(月)	1	後輩支援の実践状況報告										28(木)	1	1年の振り返り
3月				11(月)	1	次期ﾌﾟﾘｾﾌﾟﾀｰ研修				5(火)	1	問題解決技法：まとめ									

7～12月の間にB棟へ技術研修(必要部署)

7月～9月の間に各部署で実施、評価はﾍﾞｯﾄﾞｻｲﾄﾞｹｱ時に実施

急変時の看護（OSCE） 6月後半～2月頃までの間に随時実施

到達度評価（半年）

到達度評価（1年）

評価計画	行動思考						
	チェック表	看護技術（基本的技術）	メンバーシップ（報連相など） 情報収集　観察　患者対応	受け持ち看護師の役割 看護展開	小集団の リーダーシップ	チームのマネジメント	チームリーダー 評価表
	レポート	看護実践で 大切にしていること	エビデンスに基づいた 看護実践とは	私が考える看護実践者とは	看護実践者としての 自己のありかたと課題	私のｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ 専門職としての今・これから	

←実践の場での行動確認評価

←看護の専門的語り「思考」の言語化を評価